

草刈り作業に補助的な支援決定

消耗品の部分的支給 で会員を側面からサ ポートできる体制に



営農 1 班の草刈り、面積も広く傾斜地なので作業は厳しい

・ 新区長のお願い ・

平成 21 年度の八方原区長となりました原田茂樹です。たくさんの諸先輩のおられる中、やむにやまれぬ事情で区長をお引き受けすることになりました。

もとより浅学非才の凡人が大役を引き受けるについては皆様にいろいろとご迷惑をかけるかも知れませんが、なにとぞよろしくご指導ご協力のほどお願い申し上げます。

やるからには、できる限りこの地区を明るく住みやすくしていきたいと思っております。皆様のご意見やご希望をお待ちしておりますので、ご相談下さい。

☎ 090-3375-5384

E.mail : harada.sigeki@brown.plala.or.jp



一年のうちには何度も行わなくてはならない農道や畦の草刈り作業。春になると一気に伸びてくる雑草との戦いが始まります。

八方原の環境を守る会では「農地水環境向上対策」の趣旨に沿うように、できる限り「きめ細やかな雑草対策」として草刈り作業を重要な作業として位置づけています。これまで草刈り作業などにかかる費用については、日当

のお支払いを行ってまいりましたが、燃料代や刈り刃などの補償まで行うことができませんでした。

平成 20 年度の最後の事業として刈り払い機の刈り刃を購入しました。刈り刃は堅牢なチップソーです。今後必要などころに配布してまいります。今までの、個人のご負担でお願いしていた部分を幾分かでも軽減できるのではないかと考えています。

予算との兼ね合いがありますので、必要な所全てに行き渡らないかも知れませんが、順次用意してまいります。

いよいよ 3 年目に

4 月からこの事業も新たな年度に入りました。当初予定されていた 5 年の計画の中間となる 3 年目になるわけです。新年度も引き続き、環境向上に努めてまいります。まだ課題は多く残されておおり、一つずつ取り組んでまいりますので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

八方原区の団体「もっ。パラおごり」で活躍

地域づくり推進事業「第3回もっパラおごり」が3月28日（土曜日）に行われました。今回は新たな試みとして、部分的にJRのSLやまぐち号出発式と連携して開催し、もっパラおごり号という巨大な山車を中心にしたパレードを行いました。

既にご存知の通り当書記原田茂樹はこの大会の事務局を引き受けており、



一時は順番待ちの長い列ができるほどの人気だった生改連のうどん

いろいろな点で皆様にご迷惑をおかけしました。ふれあいセンターのバザーでは、八方原ふれあい朝市と生活改善グループが大活躍。いずれも予定していた数量を完売しました。

出店したバザーは、全般的に売れ行きが思わしくなく、来場者の数が多いにもかかわらず、売上げが思うようにならなかったという状況の中大健闘でした。

また、前述のSLやまぐち号の出発式には七班の廣澤さんが司会を務めておられるなど、イベント全体に当地区が関係した形となりました。

不動様にお参り

不動様として親しまれてきた不動明王、馬頭観音十一面観音の法要が3月29日行われました。

昭和8年に建てられたものですが、近年の台風禍で



急な坂道を登ってお参り

石像が滑り落ちるなどして、放置された状況でした。昨年、地元の協力者などで元の台座に戻され、法要が行われました。

今年も佐賀県基山町から龍光徳寺住職を迎えしめやかに法要が営まれました。法要の会場には地元の方々を始め、小郡地域内外から約60名が詰めかけ、足場の不安定な中、法要を見守っていました。

バス路線を利用しましょう

八方原区に定期バスが乗り入れて、ちょうど1年になりました。なかなか利用する機会がなくて残念なのですが、常に利用客の状況を気にしています。

朝の便は上り下りともあまり多くの利用者がありません。数名の乗客があれば良い方で、誰も乗客がいらないということもあります。

3月16日の月曜日の朝、新山口駅から県庁に向けての便は特別な状況でした。なんと全ての席が乗客で埋まっていました。見間違いではないかと、改めて確認したほどです。

残念ながらその後、16日の満席再現はお目にかかれませんでした。多分、何か特別な行事があった



バスの利用できない地域はまだ多い

のでしょうか。一日4便と利用する側からするとあまり便利の良いものではありませんが、あまり乗車が少ないと路線そのものが廃止されてしまう可能性もあります。しっかりと利用して、バス路線を定着させて行きましょう。